# 施策評価シート(令和6 年度の振り返り、総括)

作成日 令和7 年 03月 05日

施策 No.	1	施策名	確かな学力の育成	
主管課名	学校教育課	電話番号	0285-81-9052	
関係課名	学校教育課、デジタル戦略課			

# 1. 計画(Plan)

施策の対象	市内の義務教育課程の児童生徒								
対象指標名	単位	令和2 年度実績	令和3 年度実績	令和4 年度実績	令和5 年度実績	令和6 年度実績	令和6 年度見込		
児童生徒数	人	6,638	6,562	6,476	6,364	6,183	6,004		

施策の目標	すべての小中学校で、電子黒板やタブレット、デジタル教科書等のICT機器を効果的に活用した授業を展開し、学力の向上を図ります。 また、指導する教員は、校務支援システムの活用等により働き方改革を進めることで、子どもに向き合う時間を確保し、教育の質を高めます。								
成果指標設定の 考え方及び 指標の把握方法 (算定式など)	・児童生徒の学習の定着度をはかるため、とちぎっ子学習状況調査について、教科合計平均正答率の県と真岡市との比較差の数値を使用する。(小5:国・数・理、中2:国・社・理・数・英)・小中学校におけるICT機器の活用状況をはかるため、「真岡市ICT教育基本構想」に基づき学習用PCの導入率と、電子黒板の導入率を使用する。								
成果指標名		単位	平成30年度 基準値	令和2 年度	令和3 年度	令和4 年度	令和5 年度	令和6 年度	令和6 年度 目標値
小5県学習状況調査にお	目標値	- ポイ	+0.2	+0.3	+0.4	+0.5	+0.6	+0.7	+0.7
ける県との差(3教科)   	実績値	シト	+0.2	実施無	+1.2	+1.6	+2.0	+1.0	
中2県学習状況調査にお	目標値	ポイ	+0.8	+0.9	+1.0	+1.1	+1.2	+1.3	+1.3
ける県との差(5教科)	実績値	ポイント		実施無	+2.0	+0.2	+1.4	-0.9	11.0
学習用PCの導入率	目標値	- 人/台	6.2	1	1	1	1	1	1
	実績値	7/1		1	1	1	1	1	
  電子黒板の導入率(普通  教室・理科室)	目標値	- %	100	100	100	100	100	100	100
教室・理科室 )	実績値			100	100	100	100	100	100
	目標値								
	実績値								
	目標値								
	実績値								
	目標値								
	実績値								

施策の成果向上に 向けての 住民と行政との 役割分担 市民は、学校・家庭・地域と連携して、人間性豊かな子どもを育成する。 行政は、学力向上を図るための教育環境の整備を推進する。

# 2. 実行(Do)→個別事務事業の実施による(事務事業マネジメントシート参照)

# 3. 検証・評価と今後の方向性(Check&Action)

(1) 施策目標達成に対する要因分析と課題(①構成事業が与えた影響、②外的要因を踏まえて検証)

# 県学習状況調査における県との差

#### 【要因分析】

- ・小学5年生では、3教科の平均正答率において県との差が1.0ポイント増となり、目標値である+0.7も上回る結果となった。令和3年度から毎年県平均を上回っている。
- ・中学 2 年生では、5教科合計平均正答率について県との差がマイナス0.9ポイントとなり、令和 3 年度以降で初めてマイナスに転じる結果となった。 5 教科すべてにおいてマイナスとなっており、特に学校による格差が大きいことが特徴的だった。

#### 【課題】

- ・中学2年生の結果を受け、指導主事の学校訪問による授業指導などのフォローアップを行ったところではあるが、学力向上の取組強化は 喫緊の課題である。
- ・更なる学力向上のため、教員が子どもと向き合う時間を確保し、教育の質の向上に努める必要がある。
- ・児童生徒の学力の実態について調査し、多角的に分析を行う必要がある。

#### 学習用PC導入率

## 【要因分析】

- ・1人1台の端末配付については令和2年度から達成しており、ICT機器を活用した授業による学習への興味関心が向上している。
- ・小学2年生以上で端末の常時持ち帰りを開始し、家庭学習とうまく連携するなど、更なる端末活用の推進を図ることができた。

#### 【課題】

・デジタル教科書等のICT機器を活用した授業を展開し、更なる学力向上に繋げるため、教職員のスキルアップが必要である。

#### 電子黒板の導入率

## 【要因分析】

・電子黒板は全普通教室、理科室に導入済であり、授業においては不可欠である。また電子黒板やタブレットなどの機器の効果的運用のため、観察・実験に関する資料や動画等をクラウド上に掲載した。

#### 【課題】

- ・電子黒板等を活用した授業展開により、児童生徒の授業の理解度をさらに高めるため、教職員のスキルアップを図る必要がある。
- ・電子黒板の故障が急増しているため、今後の更新計画を早急に策定する必要がある。

#### その他の課題

- ・少子化により児童生徒数が減少している件について、学びの環境を確保・整備するため、学校の適正配置について調査・研究をしていく必要がある。
- ・更なる学力向上のため、教員が子どもと向き合う時間を確保することを目的に、働き方改革を進める必要がある。

### (2) 今後の方向性((1) の要因分析を踏まえ、施策目標達成に向けた方針を示す)

# 【児童生徒の学力向上】

- ・全国学力・学習状況調査、とちぎっ子学習状況調査及び真岡市総合学力調査の結果について調査分析し、その結果のフォローアップを重視することで、確かな学力の定着を図り、学力向上を目指していく。
- ・学力向上推進研修会や指導主事の学校訪問による授業支援等を行い、教職員の指導力向上を図るとともに、複数担任制のための非常勤職員を配置し、個別指導の充実に取り組むことで、児童生徒の学力向上を図る。
- ・令和6年度から3か年、英語科教員の指導力向上を目的に、市独自の英語指導者研修を実施し、生徒の英語力及びコミュニケーション能力の向上に取り組む。

## 【教職員への支援】

- ・1人1台のタブレット型端末や電子黒板等のICT機器を活用した質の高い教育を推進していくため、ICT活用に関する職員研修の実施、ICT支援員との連携を強化し、教職員のスキルアップを図る。
- ・令和5年度から導入している勤怠管理システム、及び校務支援システムの有効的な利活用により、市教育委員会と学校との連携強化に努め、また教員業務支援員の配置による教職員の業務削減や、行き届いた学習指導や生徒指導等につなげていく。
- ・令和6年度から導入している保護者連絡システム「eメッセージ」を有効活用し、教職員の事務の効率化を図り、働き方改革を推進し、教員が子どもと向き合う時間を確保する。

### 【その他の施策】

- ・令和4年度に真岡東中学校に導入したコミュニティスクールについて、令和8年度までに、市内全小中学校に順次導入し、学校・家庭・地域が連携・協働する体制を整備し、地域で教育課題の解決つなげる。
- ・児童生徒数の減少に伴う、本市における学校の適正配置を含めた在り方について、学校施設の修繕計画と合わせ調査・研究を進めていく。

# 4. 構成事業一覧(個別事務事業一覧)

NO	総重、総新戦拡、戦新	事務事業名	担当	成果	評価結果		
				成果指標名	単位	令和6 年度実績	今後の方向性
1	総重	真岡市総合学力調査事業	学校教育課教育政策係	児童受験者数(延べ人数)	人	3,257	事業のやり方 改善
				生徒受験者数(延べ人数)	人	1,873	事業のやり方 改善
				小学生調査(11月)平均正答率の全国と の差	Р	+2.2	事業のやり方 改善
				中学生調査(11月)平均正答率の全国と の差	Р	+1.1	事業のやり方
2	総重	学力向上推進事業	学校教育課指導係	研修会後アンケート高評価の割合	%	98.5	事業のやり方
				小5とちぎっ子学習状況調査 県との差	%	1.0	事業のやり方
				中2とちぎっ子学習状況調査 県との差	%	-0.94	事業のやり方 改善
3	総重/戦拡	ICTを活用した学校教育の推 進事業	学校教育課教育政策係	PC1台当たりの児童数	人	1.19	事業のやり方 改善
		27.7		学力状況調査 県との差(小5)	Р	+1.0	事業のやり方 改善
				学力状況調査 県との差(中2)	Р	-0.9	事業のやり方 改善
4		複数担任制のための非常勤職 員配置事業	学校教育課総務係	学習支援を受けた児童	人	4,021	現状維持
		スルロチボ		学習支援を受けた生徒	人	2,162	現状維持
5		学校図書館専任司書配置事業	学校教育課総務係	学校図書館の充実が図られた学校数	校	23	現状維持
				貸出冊数	₩	147,972	現状維持
				利用者数	人	171,157	現状維持
6		マイチャレンジ推進事業	学校教育課指導係	体験活動により共に生きる力や感謝の 心が育まれた中学 2 年生の数	人	723	現状維持
7		コミュニティスクール推進事 業	学校教育課教育政策係	学校運営協議会を設置した学校の数	校	7	現状維持
		*		学校運営協議会開催回数		18	現状維持
8		学校施設管理事業	学校管理課学校施設係	小学校修繕件数	件	156	事業のやり方改善 予算増大
				中学校修繕件数	件	131	事業のやり方改善 予算増大
9		理科担当者研修事業	科学教育センター科学教 育センター	研修により自信をもって授業に臨めた教 員の割合		100	廃止
				研修により観察・実験の指導力向上を実 した教員の割合	惑	100	廃止
				真岡市総合学力調査における全国平均 との差(小4 小5)		+1.8	廃止
				真岡市総合学力調査における全国平均 との差(小5 小6)		+0.6	廃止